医療福祉学研究科

臨床心理学専攻（修士）

ディプロマポリシー

1.国際医療福祉大学の基本理念と教育理念とを充分に理解し、専門職業人として「共に生きる社会」の実現に貢献する強い意志を涵養できている。
2.医療福祉分野において明確に目的意識を持ち、専門職業人としての使命感、倫理観など医療プロフェッショナリズムを備え、専門分野での研究や臨床を実践できる。
3.専門分野における幅広い知識、技能と判断力を修得し、専門職業人としての論理的思考や深い学識を養い、卓越した教育、研究あるいは臨床能力を十分に発揮できる。
4.実践家あるいは教育・研究者としての自立性を確立でき、優れた実践能力やコミュニケーション能力と国際性を培い、指導的立場で活躍できる。
5.（看護学分野 管理実践看護学領域のみ）複雑化する保健医療福祉の課題を分析し、解決策を提案ならびに、政策提言を行うことができる。
6.所属分野が特定の修了要件を要求する場合、それを満たしている。
7.修士および博士課程の修了要件として、①大学院学則に定める修業年限以上在学し、②授業科目について所定の単位以上を修得し、③必要な研究指導を受けた上で、修士課程においては修士論文の作成または課題研究を行い、修士論文審査（または課題研究成果の審査）および所定の試験に合格した者、博士課程においては博士学位論文の作成を行い、博士学位論文審査および所定の試験に合格した者を修了とする。

【注意】
・公認心理師受験資格を満たすためには、15科目28単位取得が必要となる（学部課程での科目履修に不足がある場合は受験資格は与えられない）

		共通科目	専門科目		
			講義科目	演習・実習科目	研究指導科目
		医療福祉に関する高度な学術知識を身に着ける（※修了要件に参入されない）	心理の専門職としての基盤となる知識を身に着ける	心理の高度専門職としてのスキルを修得する	学位に相応しい研究を遂行し、成果をまとめる
1年次	前期	・心理学の基礎を修得する ・研究遂行の基礎となる技能を修得する ・研究倫理に関する知識を身に着ける ・研究計画を策定する	保健医療分野に関する理論と支援の展開 教育分野に関する理論と支援の展開 心の健康教育に関する理論と実践 臨床心理学特論Ⅰ 家族関係・集団・地域社会における心理的援助に関する理論と実践 など	臨床心理基礎実習Ⅰ 心理実践実習Ⅰ 臨床心理査定演習Ⅰ 心理実践実習Ⅳ	臨床心理学研究指導
	後期		司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 人格心理学特論 老年心理学特論 など	臨床心理基礎実習Ⅱ 心理実践実習Ⅱ 臨床心理査定演習Ⅱ 心理実践実習Ⅳ	
		M1研究報告会			
2年次	前期	・実習を通じて、心理専門職としての技能を修得する	保健医療分野に関する理論と支援の展開 教育分野に関する理論と支援の展開 心の健康教育に関する理論と実践 心理学研究法特論 家族関係・集団・地域社会における心理的援助に関する理論と実践 など	臨床心理実習Ⅰ 心理実践実習Ⅲ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習Ⅵ	
		M2研究報告会			
	後期	・修士論文にまとめる	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 人格心理学特論 老年心理学特論 など	臨床心理実習Ⅱ 臨床心理査定演習Ⅱ 心理実践実習Ⅴ 心理実践実習Ⅵ	
		学位論文審査			
		研究発表会			

A:研究・教育の方法
・研究倫理特論
・修士課程のための研究法入門
・統計学入門
・質的研究法概論
・英語論文執筆演習
・医学データ解析入門
など

B:人間・集団
・疫学概論
・人口問題と政策
・医療福祉における栄養学
・ボランティア論
など

C:保健・医療・福祉
・医学概論
・最新の医療福祉の動向Ⅰ・Ⅱ
・災害医療論
・がん医療総論／各論
など

D:経営と管理
・医療経済学概論
・医療福祉政策・管理学概論
・医療福祉連携論Ⅰ・Ⅱ
など

E:情報
・医療情報システム概論
・医療福祉面接記録法
など

修士論文

学位取得